

平成27年10月7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成27年9月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成27年9月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 26 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	513	435	416	345	320	303	346	313	507	581	512	523
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	141,934	116,780	99,614	80,006	66,673	53,476	52,025	61,788	121,116	146,935	172,500	180,985
顧客口座数 (単位：口座)	232,518	234,192	235,807	237,340	238,815	240,435	242,160	243,854	245,880	247,587	249,193	251,189
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	44,144	44,250	44,348	44,177	44,098	44,561	45,128	45,214	45,649	46,290	46,008	47,359

年 月	平成 27 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	593	440	534	470	456	544	510	552	552			
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887			
顧客口座数 (単位：口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463			
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815			

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成21年7月から平成26年10月まで株式会社大阪取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を行っており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
5. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 9月次の概況 >

9月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝121円台前半で取引が始まり、1日に発表された中国製造業PMIが3年振りの低水準になったこと、4日に発表された米国雇用統計が共に予想を下回ったことを受け、4日には月の安値となる118円台半ばをつけました。その後も、中国経済の減速懸念と米国の利上げを巡る思惑等から、118円台後半から121円台前半にかけての狭いレンジでの持ち合い相場となり、119円台後半で月末を迎えました。米ドル／円の月を通じた変動率は、下旬の急激な相場変動により変動率の高まった前月からは大きく低下したものの、平成27年6月から7月にかけての変動率と同程度の水準となりました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、豪ドル／円が前月に引き続き高い変動率を示したのをはじめ、ユーロやポンドについても比較的値動きが大きくなり、米ドル／円を含めた全体としての変動率は、前月をやや下回るものの比較的高い水準を維持しました。

このような状況の中、外国為替取引高は、シルバーウィークに伴い相場参加者が減少する局面はありましたが、米ドル／円や豪ドル／円を中心に増加し、前月比7%増加の958億通貨単位となりました。一方、営業収益は、前月と比べ相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が増加したこと等による取引高当たり収益性の低下があったことから、前月比ほぼ横這いの552百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比1,942口座増加の267,463口座と堅調に推移した一方、外国為替取引預り証拠金は、急激な円高により大きく減少した前月から大きく増加し、前月末比4,561百万円増加の52,815百万円と減少前の残高を越える水準に回復いたしました。

以 上